

205. 熟練者（自分）の悩みはこれで解決！

技術戦略部 調査役（基準） 松山 幹夫

お読みいただき、ほんとうにありがとうございます。リモートワーク対応お疲れ様です。シニア及びナイスミドルの方、デジタル対応どうですか。波に乗っていますか。通勤という非生産的なものから一部開放されるというメリットはありますが、学ぶことが多すぎて私は苦労しました。

さて、下水一筋30数年、自称、熟練者？がみなさんに悩みをうちあけます。私は、若手にパソコン、インターネット関係のことを教えてもらうのは、とっても苦手です。抵抗があります。「前に教えましたよね。」「こんなことも知らないのですか。」「今までよくやっていたよ。」こんなことを言われたら、いや、思われるだけで寝込みます。

在宅勤務で、「TEAMS、ZOOMで会議するぞ、勉強しておくように！」、さーてどうしよう。私の解決策は、ズバリ、YouTube等、動画での勉強でした。老眼で読書量が減ってきて、新しいことを学ぶのに抵抗感があり、過去の知識と経験で生きてきた私には、「この手があったか」という感じです。何度見てもいいし、好きな時に見れる。多くのすぐれた作り手が、ただ？で提供してくれる。動画の情報伝達能力は優れています。若手は慣れ親しんでいるかもしれませんが、私はやっと気づきました。「インターネット、動画ありがとう。」

これで調子に乗った私は、ケチな妻を説得し、今春に最新のスマートフォンとタブレットを購入しました。これらの操作方法は、全て動画で学びました。今まで一部の機能しか使えてなかったことに気づきました。損をしてきたという感じです。

動画で恥をかくことなく時間的、空間的制約なく効率的に勉強して、今まで培ってきた知識、経験をさらにレベルアップできる。新しいことにチャレンジし続けて、後、40年働くぞ。

唐突ですが、インターネット、動画つながりで少しだけ遠隔臨場の話させてください。

国土交通省より、これまで施工管理において、監督職員が現場で立ち会っていた臨場確認に代えて、映像データを用いて発注者の事務所内等でリアルタイムに承認・確認する「遠隔臨場」を試行するとの発表がありました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策、発注者の現場への移動時間削減及び受注者の立会調整時間の削減を目的としています。

JSとしても、試行実施に必要なルールである「試行要領(案)」、「監督・検査試行要領(案)」の策定を進めております。

建設現場での品質の確保及び災害、事故の発生防止に加えて、有効な最新技術、仕組みを試行、評価、導入することによって業務のレベルアップを図りたいと考えております。

若手、中堅、熟練者、関係者みんなで協力してデジタル対応、頑張りましょう。